

ウォーターPPP 導入可能性調査に係るマーケットサウンディング調査
第1回調査（アンケート調査）結果概要

1. 実施主体

大分市上下水道局 経営企画課

2. アンケート実施期間

令和6年6月17日（月）～7月19日（金）（33日間）

3. アンケート回答者数

33者

表-1 回答者数内訳

回答者業種	回答者数
シンクタンク・コンサルタント	8
電気・機械メーカー	8
プラントメーカー・プラントエンジニアリング	6
建設業	4
製造業	2
維持管理業	5

4. 調査結果

- ・大分市がウォーターPPPを導入する場合、「参入または参入を検討したい」と回答した企業の割合が約9割。
- ・大分市がウォーターPPPを導入する場合、適当と思われる業務範囲として、「更新実施型（処理場+管路）」、「更新支援型（処理場+管路）」を選択した企業の割合が約半数。
- ・ウォーターPPPの導入にあたっての懸念点や不安点においては、「運転管理や維持管理における情報不足」、「資産評価が不明確」、「中小企業や市内業者との連携が不安」を選択した企業の割合が約半数。
- ・その他、地元企業との連携や、入札時における公平性の確保等について多くのご意見をいただきました。